月間報告書　2025年9月分

学籍番号　　留学先　ｶｽﾃｨｰﾘｬ･ﾗ･ﾏﾝﾁｬ大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Historia1	歴史1	440	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

講義をメインに歴史や様々な学問について学びます。

15人程のクラスで、授業内にはスペイン人と私を含め日本人2名、台湾人3名、他にもイタリア人など様々な国籍の学生が参加しています。

週に2回ずつ、1日110分の授業です。

座学だけでなく、実際に様々な学問で使用されている技術などをデバイスを用いて体験できるのが魅力です。

Ⅲ．生活編

私はスペイン、クエンカのカスティーリャ・ラ・マンチャ大学に留学しています。

クエンカは小さな街で、歴史的建造物や文化的祭典が多い穏やかな街です。

家は中心街から5分ほどの距離にあります。私を含めての3人でシェアハウスです。家賃は月40000円程度です。

Díaという安いスーパーがあるので食料や水分はそこで購入しています。基本は自炊で1日の食費は500円程度です。

同居人は英語教員の方で、フランクに接してくださいます。

到着してからの1ヶ月は初めてのことばかりで、現地での電話番号登録、住民登録、現地身分証明書登録など少し大変でした。

携帯に関しては、出発前にHolaflyというサイトでヨーロッパ用のesimを1週間分購入し、現地についてからキャリアショップで現地の電話番号(simカード)を契約するのがおすすめです。

vodafoneというキャリアショップがおすすめです。家にwi-fiがあれば、月60＋30GBで約2500円のプランがおすすめです。

現地身分証明書に関しては、現地の警察署のような場所で申請が必要なので、ついてから早めに予約するのがおすすめです。

私は最短日を予約して、1ヶ月後でした。

予約ができたら、申請日までに住民登録をしておく必要があるので気をつけてください。これは、予約不要です。

言語に関しては、初めは聞き取りに苦労しました。現地の方々はやはり発音がとても早いので、ここは慣れが必要です。

1ヶ月生活すれば、自然と慣れてくるのであまり心配する必要はありません。

大学内での授業の履修登録は授業体験から始まります。どの学部の授業も基本的に履修なので、気になる授業があれば積極的に参加するのがおすすめです。

月間報告書　2025年10月分

学籍番号　　留学先　ｶｽﾃｨｰﾘｬ･ﾗ･ﾏﾝﾁｬ大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Historia1	歴史1	880	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

今月の授業では、考古学をベースに建築学や生物学といった学問からの視点でスペインの歴史を学びました。

先生がパワーポイントや例を出しながら明るく授業を展開してくださるので、いい意味で気軽に授業に臨むことができました。

建築学を取り扱った授業では、昔の建物がどのように崩れ、それがどう積み重なって層を成すのか。また当時の状況や遺物を詳しく調べるためにはその層のどの部分を調べるのかなど、専門的な知識を図や教室の間取りを使って学びました。スペインにある数々の大聖堂についても、その創りや当時は普通の生活スペースであったということも学びました。

生物学の分野では、骨や植物などに含まれる炭素（C14）の5730年周期で同位体が半減するという性質を利用して、発掘されたものから年代を知ることができる。またその当時、何を食べていたか、周りの環境はどうだったのかということを調査できるということを学びました。

翌月は視野を広げて、アジア、アフリカ、古代エジプトについて学ぶそうです。

Ⅲ．生活編

今月は、カスティーリャ・ラ・マンチャ大学で文学について研究されている先生が出版された小説の披露会に参加させていただいたり、同大学に勤められている日本人の先生と共に日本語を学んでいるスペイン人７名ほどと日本語、スペイン語を交えた交流をしました。

披露会は日本にいてもなかなか参加させていただく機会がないので、貴重な経験になりました。披露会後には、同大学で英語の授業を担当されている先生とそのご家族や、同年代の方とお話しさせていただきました。

日本語の交流会は、毎週金曜日の17時半から市営の図書館の一室で行なっています。活動は日本語をスペイン語で教えたり、両言語で絵しりとりをしたりと様々です。

年齢関係なく誰でも参加可能でスペイン人の友達もたくさんできました。同大学に留学希望の学生は是非。

ヨーロッパでは10月26日の午前3時ちょうどに夏時間が終わって、冬時間が始まりました。冬時間になったタイミングで時間は午前3時から午前2時になり、１時間の巻き戻りが起こります。

ヨーロッパの夏は日没が20時ぐらいでしたが、冬は日没が18時半ぐらいになるので、日中の時間を有効に使ったり、節電を促すために時間の変更があるようです。

今月末はハロウィンがあったので、街中で仮装している人がいたり、一晩中バーやレストランが賑わっていたりと、日本よりも熱のある海外ならではの雰囲気を味わうことができました。

来月のイベントではありますが、毎年11月には留学生に向けた旅費、食事無料のトレドへの研修が予定されているので、そちらもおすすめです。

月間報告書　2025年11月分

学籍番号　　留学先　ｶｽﾃｨｰﾘｬ･ﾗ･ﾏﾝﾁｬ大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Historia1	歴史1	1120	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

今月の授業では、発掘調査の意義や方法を学び、古代エジプト文明や古代ローマ文明について学びました。加えて、今月は校外学習としてクエンカの街でフィールドワークを行いました。

キャンパス授業では、9月ごろから取り組んでいた様々な分野における発掘調査についての集大成として、改めて調査を行う意義について各々が考えました。

その後は各文明について学びました。

古代エジプト文明に関しては、商業の起源や、家族意識など、日本とは異なった文明の発展について詳細に学ぶことができたので、より一層他文明に興味を持つことができました。

11月後半からは古代ローマ文明について学び始めました。当時のローマの勢力拡大の様子を当時の地名で表記されている地図を用いて学んでいる最中です。

校外学習では、キャンパス授業で学んだ発掘調査についてクエンカに残る歴史的建造物などを交えながら簡易的に実践しました。

所々解説をいただきながら教会や大聖堂を中心に巡ったので、クエンカの歴史や建築の背景など様々な知識を得ることができました。

終了後には学科の先生、学生とカフェに行き、親睦を深めることもできました。

Ⅲ．生活編

今月は、学校主催の留学生向けトレドツアーや、先月から行っているスペイン人向けの日本語教室、スポーツなどたくさんのイベントがありました。

トレドツアーはカスティーリャ・ラ・マンチャ大学の留学生が対象で、全留学生がトレドのキャンパスに集まって交流します。

交通費や食事代などは無償で、申し込みさえすれば参加することができます。トレドの街中を巡ることもできるのでおすすめです。美味しいチュロスやパエリア、他キャンパスの留学生との交流、最後にはスペインのミュージシャンの方の演奏が生で聴けたりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。

日本語教室に関しては、先月よりも受講者の方が増え、国籍や年齢を問わずいろいろな方々に参加していただいています。初めはひらがなをレクチャーして、簡単な単語を書いたり、覚えたりというところから始めます。クエンカに留学希望の方はぜひ参加してみてください。

スポーツに関しては、街中にあるボルダリング施設にスペイン人の友達と行ったり、ストリートサッカーのグラウンドでみんなとサッカーをして楽しみました。

クエンカに住まわれている方々はアクティブな方が多く見受けられます。スポーツジムもたくさんあるので、体を動かすのが好きな方はおすすめです。

月間報告書　2025年12月分

学籍番号　　留学先　ｶｽﾃｨｰﾘｬ･ﾗ･ﾏﾝﾁｬ大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Historia1	歴史1	490	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

今月は9月の授業開始時から取り組んできたレポート課題の締め切り月でした。

課題は各々が歴史にまつわるテーマを定め、それに関してワード20ページ以上にスペイン語でまとめるというものでした。

現地の学生は1人1人で取り組むものでしたが、留学生は2人か3人で1組になり、スペインの歴史、もしくは自国の歴史について30ページ以上にまとめるというものでした。

私はもう1人の日本人留学生とともに自国の宗教文化の変遷と、それによる社会的な影響についてまとめました。

最終的に40ページほどのレポートを完成させました。

授業では教授からより詳細な文法や、参考資料、画像の提示方法を教えていただけます。

また、授業内ではそれぞれが書いたレポートについてパワーポイントを用いて要約し、発表も行われました。

Ⅲ．生活編

今月は中旬ごろに学校が休校に入り、クリスマスや年越しなどのイベントを楽しむことができました。

スペインのクリスマスは日本と異なり、12月中旬ごろから1月6日まで続きます。

11月末ごろから街中でイルミネーションの展示が始まり、メインストリートには様々な屋台が並び、チュロスやお菓子、服や雑貨などが並べられています。

3ヶ月前から継続している日本語教室のメンバーで、授業終了後に街中をまわり、楽しみました。

クリスマス当日は現地の方々は家族と過ごすのが一般的で、後に見せてもらった写真には家族で過ごす様子や、お菓子が並べられている様子が伺えました。

年越し前には、スペイン人の友達の家で持ち寄りでご飯会をしました。

スペイン人の友達の1人の家族がワインを作っていて、みんなでそのワインをいただいたり、2ヶ月ほど日本に住んでいた友達が持って帰ってきてくれた日本酒を飲んだりしました。

ご飯会の後には広場で行われていたイベントのような場に行きました。音楽が流れていて、みんなでその中でお酒を飲んで楽しみました。

地域でのサッカーも継続して楽しんでいます。

得点数やアシスト数なども詳細に記録されていて、性別や年齢、国籍関係なく楽しんでいます。

月間報告書　2026年1月分

学籍番号　　留学先　ｶｽﾃｨｰﾘｬ･ﾗ･ﾏﾝﾁｬ大学

氏名　　留学期間　2025/09/20～2026/03/31

年次　3年次　　留学区分　派遣留学

Ⅰ．受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	Historia1	歴史1	110	授業

Ⅱ．授業内容

No.1

2026年1月はテストがメインでした。

テストの範囲は学期内の内容全体でした。

歴史に関する様々な学問や、文明に関する記述形式の問題を５問ほど解答するというものでした。

Ⅲ．生活編

今月は留学生活最終月でした。

最終月は授業日数が少なかったということもあり、マドリードとコルドバに旅行に行きました。

マドリードでは、街の規模、人の多さが留学先のクエンカとはまるで違っていて驚きました。

クエンカには婦人向けメインのアパレルショップが多いので、マドリードには服を見るために出向きました。

スペイン広場の近くにある mini shop というお店に訪れて、ショップ店員さんの方々とブランドや、素材についてお話しさせていただきながらお買い物させていただきました。

他にもヴィンテージショップや生地屋さんをいくつか巡りました。

マドリードのアパレルショップは店員の方々の年齢幅が広く、本当に楽しそうに働いていらっしゃるのがとても印象的でした。

1月終盤にはコルドバに2泊3日で訪れました。

1月の序盤に計画を立てた旅行でしたが、旅行日の1週間前にコルドバで起きた鉄道事故の影響で多くのトラブルに見舞われました。

旅行日当日に駅で電車を待っていると、チケットアプリ内では定刻通りと表示されているにもかかわらず、電光掲示板に乗車予定の電車が表示されていませんでした。インフォメーションの方に尋ねると、事故の影響で運休とのことでした。代わりの電車を用意していただくのに、チャマルティン駅、アトーチャ駅でそれぞれ事情を伝え、交渉をしました。その後無事に到着し、メスキータやパティオ、バルなども訪れ、同じ日本人の留学生とも会うことができました。コルドバなどのアンダルシア地方はスペイン語の発音が聞き取りづらいと伺っていたので、注意して会話しましたが、語尾が抜けていたりやはり違いを感じました。フラメンコ衣装の生地も購入することができたので、今後の学びに活かしたいと思います。

トラブルには見舞われましたが、充実した生活を送ることができました。